

様式(細則 5-2)

令和2年11月27日

浜田市議会議長 川 神 裕 司 様

議員名 芦 谷 英 夫



調 査 研 究 活 動 報 告 書

下記のとおり調査研究のため（視察・**研修**）を（実施・**受講**）したので、その結果を報告します。

記

- 1、期 日 令和2年11月18日（水）10時～12時30分
- 2、研修内容 人口減少時代の自治体主要計画特別研修
- 3、研 修 先 ワークピア広島（広島市）
- 4、調査経費 交通費 5,440円（バス利用）
研修会受講料 15,000円
- 5、調査研究活動の概要 別紙のとおり



「人口減少時代の自治体主要計画特別研修」出席のため

令和2年11月27日

1 日 時 令和2年11月18日（水）10時～12時30分

2 場 所 ワークピア広島（広島市）

3 テーマ 「地方版総合戦略と人口ビジョンへの質問のポイント」

4 概 要 廿日市市元副市長 川本 達志

- ① 地方版総合戦略第1期の基本目標、地方に仕事をつくり安心して働けるようにする、時代に合った地域をつくり安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する、は進捗しているが、地方への新しい人の流れをつくる、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、は達成されていない。
- ② 第1期計画は平成27年に策定され令和元年度で終了し、2年度から第2期計画が策定されている。第1期計画では、地方の若者の就業率、訪日外国人旅行者数、農林水産物・食品の輸出額などは増加しており、全国的に一定の成果が見られる。
- ③ 合計特殊出生率は平成30年1・42で、出生数は27年から30年まで下がり続けている。元年度の住民基本台帳に基づく人口移動報告では、東京都への転入超過数は30年度比4%増の8万2,982人で全国最多、転入超過数は20～24歳が7割を占め、首都圏企業が地方採用を進めた結果となっている。
- ④ 地方自治体は、人口1億人維持という国の目標を前提とした地方版総合戦略策定を余儀なくされ、人口推計よりも上振れした目標を設定させられ、その実現に向け予算の獲得競争へ追い込まれ、同じような総合戦略が立案され目立った成果は上がっていない。
- ⑤ （質問のポイント 主なもの）(1)「まち」の地域資源で地域の「ひと」が「しごと」を創り出しているか。(2)飲食・小売・宿泊の高付加価値化の施策はあるか。(3)若者がチャレンジする機会は用意されているか、その支援はあるか。(4)暮らしと起業・就業を一体的に支援する体制にあるか。(5)起業就業と定住子育てがワンストップで対応できているか。(6)地元高校において「ふるさと教育」が具体的に推進され、市町村が積極的にかかわっているか。(7)現状の分析がしっかりされ、目標が具体的に明らかにされているか。(8)検証と修正がしっかり行われているか。(9)外部人材の活用は積極的か。(10)根拠に基づいた計画になっていたか？成果の検証は行われているか。(11)「稼ぐ」という視点があるか、そのためのより具体的な施策が提示されているか。など

5 所 見

- ① 浜田市で上記②に従い、平成27年と令和元年を比べると、外国人旅行者数は分からないものの、観光入込客は183万人から150万人と33万人18%減少し、水産水揚金額は4,791百万円から4,295百万円と10%減少し、若者の就業率は分からないものの、人口は平成27年56,877人が52,738人

へと8%4,139人減少していることから、浜田市の総合戦略達成度は全国レベルにも達していない。

- ② 製造品出荷額は25年6,219百万円が29年6,752百万円へと若干伸びているものの、従業者数は平成21年31,216人から28年25,674人へと18%、商業統計調査による商品販売額は、平成19年130470百万円が28年124280百万円へと5%、それぞれ減少しており、全国的に一定の成果がある分野でも浜田市はいずれも減少しており、総合戦略の抜本的な見直しを行う。
- ③ 浜田市の総合戦略の進捗状況の評価を概観すると、出生数はD、宿泊客数、合宿等誘致人数、企業立地優遇制度による雇用創出数、新規地元就職者数、外貿内貿貨物取扱量、クルーズ客船の寄港回数などはC、新商品の開発件数、開業企業数などがAのみであり、目標達成に到底及んでおらず、総合戦略の検証と新たな発想による計画が必要である。
- ④ シングルペアレント受入事業、ふるさと農業研修生育成事業、はまだ暮らしインターンシップ事業、山陰浜田港公設市場整備、ふるさと体験村やゆうひパークの再建、ふるさと郷育推進事業など、具体的な人口の底上げにつながる事業の実施状況と事後の検証を行う。
- ⑤ 浜田市は総合戦略を2年延長し、総合振興計画と同じく令和3年度に策定しているが、議会としてもしっかりとした検証と具体的な提案が必要である。

—以上—